

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2020年2月14日
【四半期会計期間】	第74期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）
【会社名】	萬世電機株式会社
【英訳名】	MANSEI CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 占部 正浩
【本店の所在の場所】	大阪市福島区福島7丁目15番5号
【電話番号】	06(6454)8211（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 平井 徹
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区福島7丁目15番5号
【電話番号】	06(6454)8211（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 平井 徹
【縦覧に供する場所】	萬世電機株式会社神戸支店 （神戸市兵庫区高松町2番3号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第73期 第3四半期連結 累計期間	第74期 第3四半期連結 累計期間	第73期
会計期間	自2018年 4月 1日 至2018年12月31日	自2019年 4月 1日 至2019年12月31日	自2018年 4月 1日 至2019年 3月31日
売上高 (千円)	17,483,852	16,647,674	23,626,561
経常利益 (千円)	618,381	539,155	803,011
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	409,670	327,520	532,542
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	265,643	360,810	413,968
純資産額 (千円)	10,742,226	11,118,546	10,890,552
総資産額 (千円)	19,804,745	19,876,709	19,936,489
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	179.05	143.15	232.75
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	54.2	55.9	54.6

回次	第73期 第3四半期連結 会計期間	第74期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自2018年10月 1日 至2018年12月31日	自2019年10月 1日 至2019年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	68.94	31.31

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は198億76百万円（前連結会計年度末比59百万円減）となりました。

流動資産は167億56百万円（同比1億83百万円減）となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少9億71百万円、未収入金の減少31百万円、現金及び預金の増加5億89百万円、商品の増加2億32百万円などによるものです。

固定資産は31億19百万円（同比1億23百万円増）となりました。これは主に無形固定資産の増加1億56百万円、投資有価証券の増加49百万円、有形固定資産の減少86百万円などによるものです。

(負債)

負債合計は87億58百万円（同比2億87百万円減）となりました。

流動負債は80億67百万円（同比2億94百万円減）となりました。これは主に未払法人税等の減少1億94百万円、賞与引当金の減少83百万円などによるものです。

固定負債は6億90百万円（同比7百万円増）となりました。これは主に繰延税金負債の増加49百万円、役員退職慰労引当金の減少34百万円などによるものです。

(純資産)

純資産合計額は111億18百万円（同比2億27百万円増）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上3億27百万円、配当金の支払額1億32百万円により利益剰余金の増加1億94百万円、その他有価証券評価差額金の増加33百万円などによるものです。

(2) 経営成績

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとした海外経済の減速やIT需要の落ち込みを背景とした輸出の低迷が続くなか、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの関連する業界につきましては、設備関連では食品、物流等における設備投資が堅調に推移しておりますが、半導体関連では産業機器を中心に需要の落ち込みが続きました。

この様な状況の中、当社グループは、顧客起点の徹底による営業力の強化と生産性向上を目的とする営業働き方改革の取り組みをスタートさせ、市場の変化やお客様の多様なニーズをしっかりと捉え、事業規模の拡大と収益力の向上に取り組んでまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は166億47百万円（前年同期比4.8%減）、営業利益は5億34百万円（同比12.1%減）、経常利益は5億39百万円（同比12.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億27百万円（同比20.1%減）となりました。

各セグメントの状況は、次のとおりであります。

(電気機器・産業用システム)

電気機器につきましては、配電制御機器は増加しましたが、機械装置向け需要の停滞継続や一部顧客の在庫調整の影響を受け減少しました。産業用システムにつきましては、国内プラント設備向け需要が伸長し増加しました。

この結果、部門全体では売上高86億72百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

(電子デバイス・情報通信機器)

電子デバイスにつきましては、民生系需要は若干増加しましたが、産業系需要は低迷し減少しました。情報通信機器につきましては、PC・サーバー、ソフトウェア等のIT投資が堅調に推移し増加しました。

この結果、部門全体では売上高45億37百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

(設備機器)

設備機器につきましては、学校関連や物流関連向け空調機器及び関連工事は増加しましたが、大口案件の変動により減少しました。

この結果、部門全体では売上高33億50百万円（前年同期比15.6%減）となりました。

(太陽光発電)

太陽光発電につきましては、概ね想定どおりに発電し、売上高87百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在 発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,300,000	2,300,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	2,300,000	2,300,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日	-	2,300,000	-	1,005,000	-	838,560

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】
 【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 12,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,285,800	22,858	-
単元未満株式	普通株式 2,200	-	-
発行済株式総数	2,300,000	-	-
総株主の議決権	-	22,858	-

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
萬世電機株式会社	大阪市福島区福島7丁目15番5号	12,000	-	12,000	0.52
計	-	12,000	-	12,000	0.52

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 退任役員

役職名	氏名	退任年月日
取締役相談役	占部 嘉英	2019年12月15日 (死亡による退任)

(2) 異動後の役員の男女別人数及び女性の比率

男性12名 女性 - 名(役員のうち女性の比率 - %)

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,927,074	7,517,028
受取手形及び売掛金	6,889,050	5,917,190
電子記録債権	2,139,426	2,127,609
商品	733,962	966,260
未収入金	200,306	169,107
その他	55,105	63,768
貸倒引当金	4,510	4,024
流動資産合計	16,940,414	16,756,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,495,110	1,444,000
機械及び装置（純額）	512,307	480,015
土地	113,613	113,613
建設仮勘定	-	233
その他（純額）	18,613	15,688
有形固定資産合計	2,139,644	2,053,551
無形固定資産	22,197	178,903
投資その他の資産		
投資有価証券	728,343	778,209
その他	121,729	124,943
貸倒引当金	15,840	15,840
投資その他の資産合計	834,232	887,313
固定資産合計	2,996,074	3,119,768
資産合計	19,936,489	19,876,709

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,173,179	7,212,536
短期借入金	358,080	350,000
未払法人税等	201,111	6,415
賞与引当金	156,048	72,935
役員賞与引当金	33,496	18,900
その他	440,535	406,688
流動負債合計	8,362,451	8,067,476
固定負債		
繰延税金負債	402,793	452,506
役員退職慰労引当金	123,300	88,900
退職給付に係る負債	18,636	4,992
資産除去債務	66,986	67,588
その他	71,768	76,699
固定負債合計	683,485	690,686
負債合計	9,045,937	8,758,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005,000	1,005,000
資本剰余金	838,560	838,560
利益剰余金	8,834,413	9,029,229
自己株式	15,427	15,538
株主資本合計	10,662,546	10,857,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	227,569	261,098
為替換算調整勘定	1,152	1,157
退職給付に係る調整累計額	1,588	1,354
その他の包括利益累計額合計	228,005	261,295
純資産合計	10,890,552	11,118,546
負債純資産合計	19,936,489	19,876,709

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)
売上高	17,483,852	16,647,674
売上原価	15,149,619	14,424,944
売上総利益	2,334,232	2,222,730
販売費及び一般管理費	1,726,622	1,688,397
営業利益	607,610	534,333
営業外収益		
受取利息	544	494
受取配当金	19,451	20,207
その他	6,985	5,336
営業外収益合計	26,982	26,039
営業外費用		
支払利息	1,435	1,685
売上割引	11,052	11,850
為替差損	2,425	6,352
その他	1,298	1,328
営業外費用合計	16,211	21,217
経常利益	618,381	539,155
特別利益		
投資有価証券売却益	2,518	-
特別利益合計	2,518	-
特別損失		
社葬関連費用	-	18,836
役員弔慰金	-	4,200
減損損失	-	5,333
特別損失合計	-	28,370
税金等調整前四半期純利益	620,899	510,784
法人税、住民税及び事業税	194,935	148,376
法人税等調整額	16,294	34,886
法人税等合計	211,229	183,263
四半期純利益	409,670	327,520
親会社株主に帰属する四半期純利益	409,670	327,520

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	409,670	327,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140,635	33,529
為替換算調整勘定	484	5
退職給付に係る調整額	3,876	234
その他の包括利益合計	144,026	33,289
四半期包括利益	265,643	360,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	265,643	360,810
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
受取手形	164,403千円	87,265千円
電子記録債権	65,056	87,990
支払手形	163,456	146,584

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	99,515千円	105,309千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	54,913	12	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金
2018年11月6日 取締役会	普通株式	59,489	13	2018年9月30日	2018年12月7日	利益剰余金

(注) 2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。「1株当たり配当額」につきましては、当該株式併合前の金額を記載しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	68,640	30	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金
2019年11月5日 取締役会	普通株式	64,064	28	2019年9月30日	2019年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額(注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電気機器・ 産業用シス テム	電子デバイ ス・情報通 信機器	設備機器	太陽光発電	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,690,370	4,735,371	3,972,080	86,029	17,483,852	-	17,483,852
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	8,690,370	4,735,371	3,972,080	86,029	17,483,852	-	17,483,852
セグメント利益(営業利益)	401,363	97,824	145,151	39,944	684,284	76,673	607,610

(注)セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額(注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電気機器・ 産業用シス テム	電子デバイ ス・情報通 信機器	設備機器	太陽光発電	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,672,415	4,537,470	3,350,704	87,083	16,647,674	-	16,647,674
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	8,672,415	4,537,470	3,350,704	87,083	16,647,674	-	16,647,674
セグメント利益(営業利益)	419,431	62,816	90,152	40,317	612,717	78,384	534,333

(注)セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益	179円05銭	143円15銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	409,670	327,520
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益(千円)	409,670	327,520
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,288	2,288

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2019年11月5日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....64,064千円

(ロ) 1株当たりの金額.....28円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2019年12月10日

(注) 2019年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月4日

萬世電機株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 尾仲 伸之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩淵 貴史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている萬世電機株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、萬世電機株式会社及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。